

立教池袋 運動部通信

第95号 2023.2.28

～2022年度 10大(重大)NEWS!!～

陸上競技部 2022年度 10大ニュース



お待たせしました。
運動部通信2022年度の第三号です。
今回は毎年恒例の“10大(重大)ニュース”号!
各部では、今年度どのようなことがあったの
でしょうか。大会なども大分実施できるようになり、
嬉しいニュースも増えたのではないかと思います。
みなさんぜひ最後まで楽しみながら読んでください☆

ゴルフ部 ～2022年度 重大ニュース～



- (高校)
1. 全国高等学校ゴルフ選手権(団体の部)、高3阿出川・松崎、高2榎本・諏訪、高1中山で強豪揃いの関東大会を勝ち上がり2年連続の全国大会団体戦出場。
 2. 全国高等学校ゴルフ選手権春季大会(個人の部)に高2榎本が出場。苦しんでいた個人戦の壁をようやく突破しての全国大会個人戦初出場!
 3. 関東高等学校ゴルフ選手権(個人の部)、関東ジュニアゴルフ選手権(個人の部)への出場権を獲得したのは高3阿出川・松崎、高2榎本・諏訪、高1中山の5名。
- (中学)
4. 全国中学校ゴルフ選手権(団体の部)は、中3廣井・中島・前田・奥村・谷口のメンバーで復活出場! 昨年途絶えた連続出場を関東大会準優勝でリベンジした。
 5. 関東中学校ゴルフ選手権(個人の部)は中3前田・谷口・奥村・兼重が予選をクリアして見事決勝大会に出場。最終予選会でようやく念願が叶う!
- (共通)
6. サンコー72CCでの夏合宿を再開! 中学生は上級生とのラウンドが飛躍的な技術の向上に役立った。やっぱり合宿って良いですね!
 7. 伝統の合宿中「立教杯」も復活して高3酒井が見事に優勝。初日の成績上位者4名が何故か2日目には圏外へ!!
 8. 三年ぶりの卒業記念コンペ、高1中山は怒涛の1イーグル・7バーディー・1ボギーで驚異の8アンダー64(パー72)を達成。中1ゼロから始めた高2小倉が4年間で78の快スコア、地道な努力が実りました、感動ものです!
 9. 2023年3月31日で休部となります。長らく応援を有難うございました。

1. 高3 大竹 徳島インターハイ出場

高3大竹爾喜が800mで昨年に続き2度目となるインターハイに出場した。惜しくも決勝進出はならなかったが、準決勝では存在感のあるレースを展開した。道中に見た瀬戸内の絶景も忘れられない宝物。

2. 高2 大竹 都大会二連覇達成

同じく大竹は都大会で二連覇を達成。秋口から怪我の影響が長引き、ギリギリまで復調の兆しが見えなかったが、持ち前の集中力と勝負強さで勝利をもぎ取った。

3. 中2 花香 棒高跳 都大会優勝 関東大会へ

中2花香寿直が都大会優勝の金星を挙げ、関東大会へ出場。棒高跳での都大会優勝は本校初となる。しかも中2とは、湾曲したポールの反発に乗る感覚は見事だ。大竹に続いて二連覇なるか。そして全国へ。

4. 高1 中村 5000m競歩 都新人大会 5位

今や日本のお家芸といえる競歩。その競歩で高1中村響が都新人大会5位となった。長い手足を操るきれいな歩形、眠れる才能の顕現である。中村以外にも競歩に取り組む選手が増えた。立教池袋のお家芸となる日がくるだろうか。

5. 中2 端谷 棒高跳 都大会 7位

花香が優勝した都大会では同じく中2端谷治太が7位に入賞した。中2でのダブル入賞、端谷も大事な場面で自己ベストをクリアしての結果だ。大舞台で自分に勝つことができるか、来年はさらに上位独占を目指す。

5. 中2 山川 1500m 秋の都大会 7位

中2山川朔太郎は秋の都大会において1500mで7位に入賞した。スローペースからのスパート勝負では少々分が悪い展開であったが、粘りを見せて7位に入賞となった。来年3000mでの闘いが楽しみ。

7. 低学年リレー 都大会 8位

第1走者から、中1杉原-中2山形-中2野島-中1スマルとつないだリレーで都大会8位に。中学生のリレーでは久しぶりの都大会入賞か。来年は中1中2の低学年リレーと、中3を中心とした共通リレーの両方で都大会上位を目指す。中3は優勝して全国の舞台に立つべし。

7. 高1 川辺 棒高跳 都大会 8位

高校生となり、ギリギリで出場権をつかんだ都大会。その舞台で高1川辺陽也は自己ベストを大幅に更新し8位に入賞した。秋の新人戦では直前の骨折により棄権となったが、その功名で身体はパワーアップした。来年の春にはさらなる飛躍をするか。

7. 高1 山内 棒高跳 都新人大会 8位

川辺に続いて、高校生になってから棒高跳に取り組み始めた高1山内琢巳。なんと初出場の都新人で8位に入賞した。棄権した川辺の悔しさも払拭してくれた。技術はまだまだだが、一冬超えての成長が楽しみ。

10. 3年ぶりに合宿へ

過去の合宿を経験したものは部内に数名のみ。それでも力を合わせてつらい練習を皆で乗り切り、身体も心も成長することができた。

☆ 春夏秋と久しぶりに忙しく過ごすことができた2022年。そしてこの冬でさらに力を蓄え、2023年に思い切りぶつきたい。忙しく活動できることに喜び、見えない支えに感謝を忘れず、さらに頑張っていきたいと思います。活動に際しまして多くのご声援、ご協力を頂き、本当にありがとうございました。



山岳スキー部 今年度の重大 NEWS

- ・中3竹田が全国大会の出場権を獲得しました。
 - ・高2安藤、鈴木、濱野、山内、高3眞崎の5名が関東大会の出場権を獲得しました。
 - ・高2鈴木、濱野が全国大会に出場。結果はSLで鈴木22位となりました。
- 心技体揃った強い選手・強い人間を育成するべく、日々、努力を積み重ねています。



水泳部 2022年度重大ニュース

1. 新入生が15名入部、総勢57名の大所帯に！
広いプールが満員になるくらいの大勢で練習をした一年間でした。
2. 法明立付属校対抗戦でベストタイム続出！
高3の引退試合となる法明立付属校対抗戦が立教新座で行われ、ベストタイムを続々と更新！練習の成果が表れる大会となりました。
3. 中高共に上位大会へ進出！
中学生は4×100mフリーリレーで関東大会へ出場、8位入賞！
高校生は4×100mフリーリレー、4×100mメドレーリレー、4×200mフリーリレーの3種目で関東大会へ出場、4×100mフリーリレーは高知で行われたインターハイに出場しました。



中学庭球部

☆☆2022年度の重大ニュース☆☆

- 一、都ブロック団体優勝を経て2年半ぶりの有志応援を伴い進出した都総体団体ベスト24！
- 一、身体能力の高さを誇る秋山(俊)と仲間思いの目黒ペアによる関東個人戦ダブルス出場！
- 一、有力選手を抱えた強豪校を5回戦で打ち破り進出した都新人団体ベスト8と関東新人団体！
- 一、活動制限の中でも誠実に活動に参加し仲間とあたたかな信頼関係を築き上げた中2チーム！
- 一、元気の良さや協力の心で練習に励み、力をつけランキング戦で勝ち上がる9名の中1部員！

※来年度も全中出場と仲間との信頼関係構築を目指し、全力で取り組みます！！

中高剣道部 2022年度重大ニュース！

新入部員が4名入部!!

昨年に引き続き今年も4名の1年生を迎え入れることができた。剣道人口が減少する中、立教池袋だけで団体戦を組めるようになったことは非常にうれしい。部内でのレギュラー争いも本格化し個々のレベルもアップしていくことだろう。

公式戦が本格化!!

コロナ禍での暫定ルールの下、今年度はほぼすべての公式戦が実施されている。まだまだ勝ち進めるところまではいかないものの、一つ一つの大会に真剣に取り組んだ。区民大会では中1矢部、中2柴田、高橋、中3成田などが好成績を残している。来年度の成長が楽しみなところだ。

学校泊まり込みを実施!!

夏の合宿や遠征は中止となってしまったが、冬休みに学校泊まり込みを行った。練習試合から学校に直行し即練習、近くの銭湯にみんなで足を運び、翌朝も6時から早朝稽古という流れ。初めての試みであったがよい思い出となったようだ。

高校の人数が少ないが、しっかりとひとつにまとまって活動をしている。チームワークを大切に、今後の活動も充実させていきたい。

中学卓球 重大ニュース



- 新入部員6人、全体で29人。目指すは団体で都大会ベスト8。
- 7月、夏の区大会では団体戦優勝、個人戦優勝の中2朝倉、ベスト4に中3の瀬尾、木村の2名が都大会に進出。都大会では瀬尾、木村も健闘し、朝倉はベスト32で関東大会出場への敗者復活戦で惜敗。新人戦こそは…。
- 8月、私学大会の団体戦はAチーム(中3)がベスト32、Bチーム(中3)がベスト16、快挙！また個人戦では瀬尾が5回戦、小島、二口が4回戦と健闘した。
- 9月、新チーム始動。中2が7名、中1が6名と少数精鋭で新人戦を目指す。
- 11月、秋季区大会では団体優勝、個人では中1の朝倉が優勝。都大会個人戦には中2の朝倉・千葉・一山・松井に代わって中1の懸田が出場。一山は2回戦、朝倉はベスト32と健闘したが悔いが残る結果か。来年こそは…。
- 都大会の団体戦は2-3で杉並区向陽中に惜敗(向陽中は結果、ベスト8)

振り返ってみれば、去年からの状況でここまで勝ち上がってきたことに自信を持ってほしい。3年生の実力もさることながら、後輩たちの実力もついてきている。「たれば」だが新人戦の団体戦も向陽中に勝っていたら……と慰めにしかならない。まず気持ちを切り替えて、しっかり地に足をつけて来年も豊島区の優勝トロフィーを持ち帰ってこよう！そして都大会で1つでも多く勝ってベスト8に入ろう！

1. 夏、3年生、豊島区大会優勝、都大会出場!!

～豊島区で最も成長したチーム!!～

新人大会に続いて都大会出場。勝利こそ掴めなかったが、よくぞここまで成長した!!

2. 秋、2年生、豊島区大会準優勝、都大会出場ならず

～DFは機能するも、得点力不足に泣く～

区の初戦から厳しい戦いが続いた。課題が明確になり、次の大会に繋げたい。

3. 冬、1年生、1年生大会で楽しさと悔しさを知る

～1年生初の大会、バスケの難しさを痛感～

練習は頑張っている、まとまりも悪くない。でも勝ちに繋がらない…さあ、ここから。

4. 今年も引き続き大きな存在感

～3学年で60名を超える。率いるWキャプテンの3年：永嶺&盛武、2年：飯島&櫻井～

この大所帯をまとめるため、キャプテン2人体制でチームを動かす。

番外編 3年ぶりの私立大会開催。徐々にかつてのスケジュールに

～都内約70校が参加する私立中学校の大会もついに再開～

社会でも聞くようになった●●年ぶりの●●。目標が明確になる分、結果も突き付けられる覚悟を。

次年度も St. Paul's を背負い、頑張ります。皆様の応援よろしくお願いたします。

高校サッカー部

今年度の重大ニュース



① 初の地区トップリーグに参戦したが、苦戦を強いられた。

② 3年間コーチとして大学から派遣された古杉コーチが大学からの要請もあり、大学のコーチに戻る。2年間有難うございました。

③ 予定されていた夏合宿が今年度もコロナ感染の為、直前に中止になる。結局3年生は1度も合宿に行けなかった。3年生が気の毒だった。

④ 3年ぶりにOB会を実施し、多数のOBの方々とサッカーを楽しめた。来年以降も継続されることを祈ります。

⑤ 残念ながら来年度地区リーグに降格するが気持ちを新たに頑張ろう。



1, 最後の夏は都ベスト 16

豊島区大会を優勝して第4ブロック大会で勝利し、東京都中学校野球夏季選手権大会に挑みました。

1回戦 立教池袋 2-2 (TB.5-4) 東葛西

2回戦 立教池袋 18-2 由木

3回戦 立教池袋 0-7 駿台学園



2, 現チーム(2年・1年)の戦績

現チームは、2年生14名、1年生11名で活動中

<夏から秋の戦績>

・夏季豊島区シード権大会 優勝 ・夏季新人第4ブロック大会 準優勝

・秋季豊島区大会 優勝 ・秋季第4ブロック大会 勝利

・東京都中学校野球秋季大会

1回戦 立教池袋 6-0 安田学園

2回戦 立教池袋 1-8 修徳

3, 野球部の公式 Instagram が開設から1年!

受験生やOB,応援して下さる方々,他校チーム,そして現役の選手・父母への情報発信ツールとして昨年の元旦より公式 Instagram を開設しました。運営・管理,投稿の作成などは父母会が担当,顧問が責任者と事前チェックをおこない役割分担をしています。1年間でフォロワー数が1400人を超えました。皆様もぜひチェックしてください。



高校卓球部 2022年度 重大ニュース!!

- 1. 高2中里、高2白井が東京卓球選手権大会（全国大会）に出場決定!!!**
上記2選手が東京卓球選手権大会（全国大会）に出場することとなりました。予選での破竹の勢いを本選でも見せつけてもらいたと思います。大会は3月18日の予定です。健闘を祈ります!!
- 2. 地区別卓球大会 第6位!!**
去る8月2日より行われた地区別卓球大会（23区内の学校対抗戦）において、立教池袋Aチーム（高2中里、高2白井、高2小川、高2西野、高1阿部）が北部ブロック予選を突破し、23区全体で第6位となりました。高校卓球部史上初の快挙となります。おめでとう!
- 3. 中学3年生の練習参加**
夏休み以降、中学3年生が練習に参加してくれています。やる気に満ち溢れた生徒の参加も、高校生に良い刺激となっています。意識の高い3年生に押し負けないように高校生も頑張ってください。
- 4. 新人卓球大会決勝大会出場（シングルス）**
高2中里が去年に引き続き新人大会の決勝大会に進出しました（東京都ベスト32）。コンスタントに本選に出場できるようになってきました。頼もしい限りです。今回の経験を他の部員たちにも還元してもらえたらと思います。
- 5. 新人卓球大会東京都ベスト32（団体）**
立教池袋高等学校（高2中里、高2白井、高2光武、高2西野、高2小川、高1阿部）として、新人大会 団体の部で東京都ベスト32に進出しました。個人の活躍は目覚ましいものがありますが、団体の力も着実に来ているようです。来年の春季・都総体では更にもう一つ上まで進出できるよう頑張ってください。
- 6. 新ユニフォーム**
長い間「稲妻」デザインで親しまれてきた当部のユニフォームでしたが、心機一転、新たなデザインに生まれ変わりました。立教のスクールカラーである紫紺を基調に襟元にピンクのアクセントカラーを入れた、シンプルかつスマートでありながらも印象の強いデザインとなっております。新たなユニフォームも宜しくお願いします。



高校野球部 2022年度 10大(重大?)ニュース

- 1. 高校野球部らしい活動再開**
新型コロナウイルス感染拡大も落ち着き、ようやく高校生らしい活動が戻りました。野球ができることに感謝
- 2. 3年ぶりに夏合宿、山梨遠征実施**
新型コロナウイルス感染防止のための制限が緩和され、ようやく通常通りの活動に近づきました。父母の会をはじめ、お世話になった方々に心より感謝
- 3. 夏の選手権で吹奏楽部の応援復活**
制限が緩和され、こちらも3年ぶりに復活しました。神宮で響き渡る第一応援歌はやっぱり最高!
- 4. 立教大学硬式野球部に高3の1名が入部**
神宮の舞台に立つ日を心待ちにしています
- 5. 1年生7名入部**
久々に一ケタの部員数。量より質、少数精鋭部隊になることを期待!



高校庭球部 10大ニュース 高校庭球部

- 1 全国高等学校総合体育大会テニス競技大会出場【D】(初)
- 2 全国選抜高校テニス大会【S】出場予定
- 3 関東高等学校テニス選手権大会出場【S&D】(3位入賞)
- 4 都高校(秋)新人【団体】ベスト8(5位入賞)
- 5 都高校(秋)新人個人戦 【D】(準優勝)
都高校(秋)新人個人戦 【S】(3位&5位入賞)
- 6 都高校(春)個人戦 【D】(3位入賞)
- 7 高三10名 最後の公式戦(最終戦績 春団体戦ベスト16)
- 8 高一新入部員18名が入部!(うち3名は高校入試)
- 9 中高合同の春合宿 4年ぶりに開催(予定)
- 10 新高校一年□名が入部予定【10~15名?】



公式戦は無観客開催が継続となったものの、通常練習や練習試合等、徐々に本来の形に戻りつつある途上を感じる一年であった。なかでも、都大会を勝ち抜き、上位大会へ駒を進めた選手がいたことは、部員の大きな励みになった。新入部員を含めて45名の大所帯。団体戦関東以上の目標のもと、一枚岩になれるか。チームづくりにあたり、最上級生の役割が一層大きくなる。 (顧問)

次号は今年度最終号、卒業特集となります。
お楽しみに!(編集担当)